野の浅き拶き教は死記 生\*野のの使い布\* 村を聞いた林\*、 になった。 観え愛\*本とよこ は臺灣で布教してをり御詠 隆。ラ先さ氏し込らきの法はに -----町生村正観寺の住職で、100ため本社を来訪して、100ため本社を来訪して、100元は、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元に、100元の ち、高野山大師 ちょせいかん し 具言宗 **浅**野 + い法書に しゅにんかしけう しゅにんかしけっしゅ そうにん 書きのかくとう しゅにんかしけう しゅにんかしけう しゅにんかしけう しゃ る野師が來布 五日 今二十六日 にち クリヴラ 自由レ 開 の案内 の
能
教
會
總
本 教 布前まで 内奈、ン 彰秀使レ生? で別らド 師し田を島よ 、院窓號ぎは 申家コ 挨訳開設で 昨き置い 使 和もし 郡えた、 ~ 一歌に堪能 (月)當地發の便船でコハ である、 and the second second 一十九目 たち ラ に向家 師」 \$ 、寫眞は浅野覺彰

